

# 第3次能登町総合計画

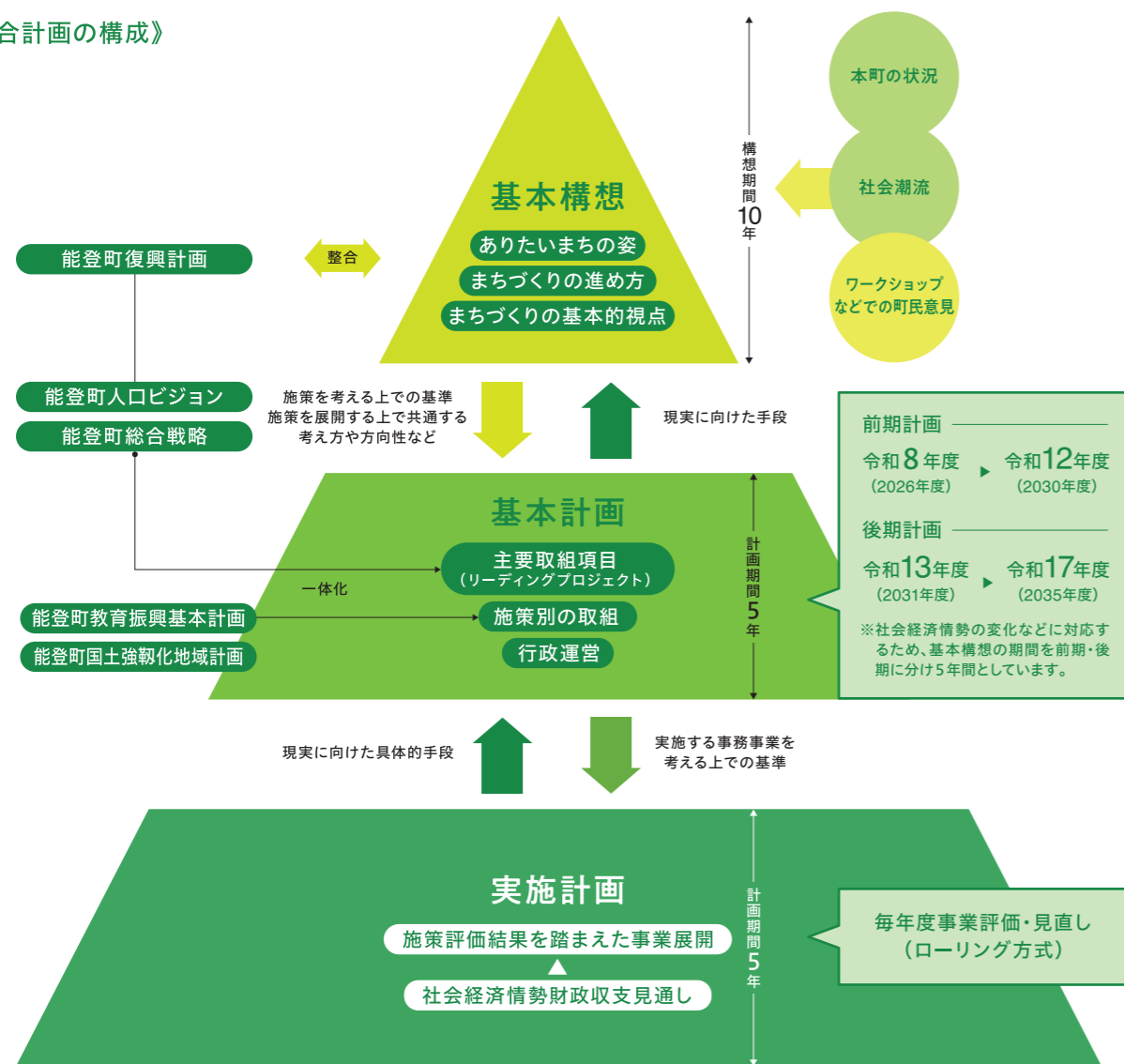
概要版

## 計画の構成と期間

まちづくりの基本となる長期的展望を示す「基本構想」、基本構想を実現するための「基本計画」、毎年度の予算編成の指針となる「実施計画」の三層をもって構成しています。また、「第3期能登町創生総合戦略」及び「第3期能登町教育振興計画」、「能登町国土強靱化地域計画」を、総合計画を構成する計画として一体的に策定します。

中長期的なまちづくりビジョン(将来像)となる基本構想は、計画期間を10年間としています。「まちづくりビジョン」の実現に向けた取組の方向性を示す基本計画は、取組の狙いや効果を検証しやすくし、ある程度の期間で見直しができるよう、前期・後期ともにその期間を5年間としています。

《総合計画の構成》



## 総合計画策定の背景とねらい

### ① ともにまちづくりを進めるための「羅針盤」として

能登半島地震や奥能登豪雨等により、本町の環境は急速に変化しているほか、近年では、物やサービスの充実だけでなく、生活の質、心の豊かさが重視され、成熟社会における行政のあり方が問われています。大規模災害からの創造的復興に向けて、行政だけでなく、町民・事業者等を含めたまちづくりにかかわる「わたしたち」主体者の「羅針盤」となるよう総合計画を策定しました。

### ② 「つくる」から「つかう」総合計画へ

大規模災害の復旧から復興へ、またその過程においても多様化する町民ニーズや変化の激しい社会経済情勢において、「ありたいまちの姿」に向かって着実にまちづくりを進めるためには、時代の潮流に対応するために、総合計画という羅針盤を活用し、進行方向を確認しながら、必要に応じて舵を切りなおすことが重要です。

### ③ 多様な主体とともにまちづくりを「具体化」する

復旧から復興に向けては、より一層のパートナーシップによるまちづくりの推進が必要です。行政だけではなく、町民や事業者、国・県などの関係機関、更には町外の関係人口等、多様な主体が「わたしごと」として、それぞれの力を発揮できるよう、町としての役割を明確にします。

### ④ 里山里海に育まれた「能登町ブランド」の確立

「里山里海」に育まれた能登の暮らしには、農林水産業等の生業、食、祭礼をはじめとする伝統文化等があり、これは世界に誇れるものです。豊かな里山里海を背景とした「祭り」、「暮らし」、「生業(なりわい)」を能登町ブランド資産として確立し、地域の持続可能な発展を支えるため、特に優先的に注力すべき分野や活動として支援や推進をしていきます。

### ⑤ 復興計画との整合を図り、総合戦略・教育振興計画等の一体的推進

これまで人口減少、少子化・高齢化などの課題の克服に向けて地方版総合戦略の推進を図ってきましたが、通常であれば10年後にやってくると考えられていた人口減少や少子化・高齢化に係る諸課題が、震災によって一気に顕在化しています。そこで、今後の復興まちづくりにおける基本的な方針と取り組みの方向性を示した「復興計画」との整合を図りつつ、「能登町総合戦略」、「能登町教育振興計画」、「能登町国土強靱化地域計画」を一体的に策定し、創造的復興にむけて効率的かつ効果的な施策の推進を図ります。



基本計画は、基本構想で掲げている町の将来像と6つの基本目標に向けた、29の政策を効果的に推進するため、施策の基本的な方向性を示したものです。各政策・施策をライフステージ別に整理すると以下の図のように整理されます。

能登町で、生まれ、育ち、学び、働き、暮らし、能登町の自然や伝統文化等の資源を磨き、町内外との交流によってつながることで、将来像「ともに生きる、能登で生きる」の実現を目指します。



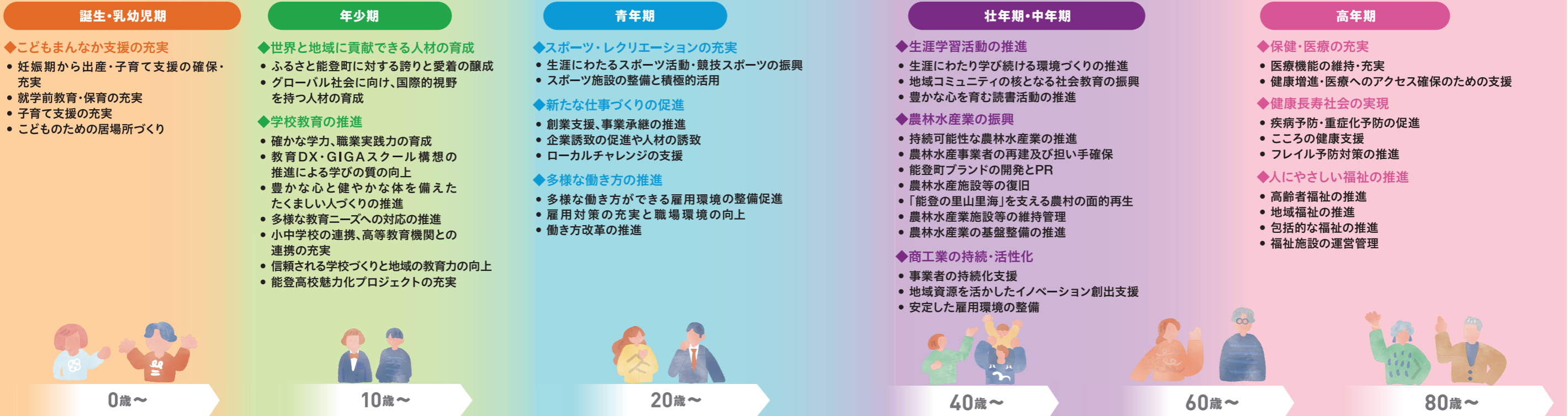
## ライフステージ別施策

### 生まれる

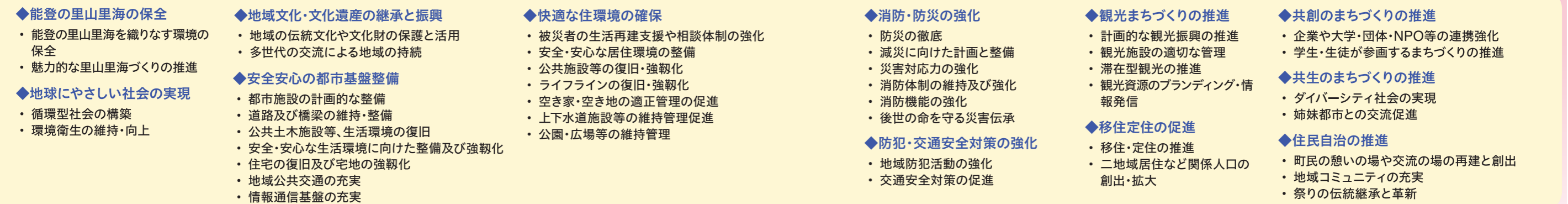
### 育つ / 学ぶ

### 働く

### 暮らす



### みがく / つながる



## 創造的復興の実現

(能登町復興計画及び能登町地区別復興まちづくり計画の推進)

重点プロジェクト／戦略的施策は、概ね10年後の将来的な課題を見据えた際に、前期基本計画の計画期間である今後5年間に於ける主要課題の解決を図るとともに、「まちの価値を生み出し創造的復興を実現するための施策」です。  
4つのプロジェクトに基づいて分野横断的に施策を推進するもので、第3期能登町創生総合戦略として位置付けています。



## 令和8年から令和12年における主要課題

- 地震、豪雨災害により加速度的に進む  
少子化・高齢化と人口減少への対策
- 里山里海を背景とした「能登の暮らし」の災害からの再興
- 単身世帯の増加による孤独・孤立化や自助力の低下等、  
担い手の確保による地域コミュニティの活性化
- 人口減少を補完するための二地域居住の推進等による関係人口の創出
- 地域内における多様な働き方に対応した就労の場や、暮らしを支え、  
ライフスタイルを豊かにする場の創出
- 扶助費の増加や復旧・復興事業による財政圧迫への対応と財源の確保



## 重点プロジェクト / 戦略的施策 第3期能登町創生総合戦略

### 1 能登の暮らしの循環再興プロジェクト

- 能登町復興計画、地区別復興まちづくり計画の推進
- 都市計画マスタープラン等に基づく計画的な土地利用の推進
- 被害や地域の特性に応じた都市基盤整備の推進
- 生活再建に対する継続的支援
- 農林水産業の振興
- 復興を担う人材の育成
- 公民連携の推進

### 2 地域まるごと学びの場づくりプロジェクト

- 幼児教育から学校教育の充実
- 子育て支援の充実
- 小中高校における学校の魅力化の推進
- 学力向上と探究的な学びの推進
- 開かれた学校運営の推進とデュアルスクールの検討
- リスキリングなど、いつでも学び直しができる環境の整備
- 産業や復興まちづくりを担う人材の確保、育成
- 防災人材の育成と災害対応力の強化
- 能登を舞台とした地域貢献活動、教育研究活動の促進
- 大学等との連携による地域交流・連携の促進

### 3 関係人口の創出プロジェクト

- 地域資源を活用した関係人口拡大と情報発信の推進
- 町内外とつなぐコーディネート機能の強化
- 二地域居住やワーケーション、サテライトオフィス誘致の推進
- 地域課題と外部人材のマッチング支援

### 4 行財政基盤強化プロジェクト

- 地区の特性に応じた協働のまちづくりの推進
- 公民連携の推進
- 行政改革の積極的な推進
- 町民の声を活かした予算執行の検討(参加型予算の検討)
- 職員の適性・志向を重視した能力開発
- 医療や教育分野等におけるDXの推進